



●令和5年度 友の会 会員募集

友の会では自然体験、実験、工作、天体観測など、会員向けの特別な活動を月1回実施しています。活動日や内容など詳細についてはホームページをご覧ください。

年会費 個人会員 2,000円 家族会員 3,000円

定員 40会員(先着順)

特典 毎週土曜日の夜間天体観望会が無料(回数制限無し)

※会員証に記名がある方が対象。特別観望会は有料。

入会方法 3月4日(土)から入会申込書(ホームページからダウンロードしてください。科学センター館内にも設置しています。)に必要事項を記入し、会費を添えて窓口にてお申し込みください。



●かんたん! わくわく工作

幼児から参加できる楽しい工作会を行います!

【ゴムの力で رفتり来たり】

輪ゴムがねじれたり、元に戻ろうとする力を利用した不思議なおもちゃを作ります。

開催日 3月21日(祝)

時間 ①10:00~ ②11:00~ ③13:00~

④14:00~ ⑤15:00~

定員 1回10人程度(先着順) 料金 1人100円

※申込不要(当日、窓口でチケットをお求めください。)



★第16回 あなん星空コラム★

小学4年生も学習する冬の大きな三角には「シリウス」という星が輝いています。シリウスは夜間全天で最も明るい恒星です。この星を天体望遠鏡で観察してみると、実はそのまばゆい輝きのすぐそばに、もう一つ暗い星を見つけることができます。これを「シリウスB」と言い、明るいほうのシリウスとともに、互いの周囲を約50年かけてまわる連星系を成しています。シリウスBは暗くて地味に見えますが、その正体は白色矮星と呼ばれ、いわば太陽のような星の燃えカス(芯)に相当します。サイズは地球程度しかありませんが、物質がぎゅうぎゅうに詰まった天体で、表面では1ccの水が1トンに達する強力な重力が働く不思議な星です。現在、シリウスBは約50年ぶりに観察の好機を迎えています。しかし空の条件に左右されやすく、観察の難易度は高め。もし興味があれば、当館の四国最大の望遠鏡で見えるかどうか、観望会で一緒にチャレンジしてみませんか。(今村和義・著)



矢印の先がシリウスB (撮影:科学センター)

3月の休館日 6日(月)、13日(月)、20日(月)、27日(月)



おもしろ科学実験 プラネタリウム 天体観望会など 定期イベントはホームページのイベントスケジュールをご覧ください。

科学センター ☎42-1600 <http://ananscience.jp/science/>

